



平成29年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年5月12日

上場会社名 株式会社インタートレード 上場取引所 東
 コード番号 3747 URL http://www.itrade.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾崎 孝博
 問合せ先責任者 (役職名) 業務執行役員 (氏名) 丸山 與一 (TEL) 03-4540-3002
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 (—)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第2四半期の連結業績(平成28年10月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第2四半期	1,008	△11.6	△180	—	△180	—	△43	—
28年9月期第2四半期	1,141	△6.6	△35	—	△36	—	△38	—

(注) 包括利益 29年9月期第2四半期 △64百万円(—%) 28年9月期第2四半期 △45百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第2四半期	△6.09	—
28年9月期第2四半期	△5.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第2四半期	2,049	1,691	82.6
28年9月期	2,199	1,755	79.8

(参考) 自己資本 29年9月期第2四半期 1,691百万円 28年9月期 1,755百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年9月期	—	0.00			
29年9月期(予想)			—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,600	10.2	50	318.6	52	253.9	42	495.1	5.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年9月期2Q	7,444,800株	28年9月期	7,444,800株
② 期末自己株式数	29年9月期2Q	259,200株	28年9月期	259,200株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年9月期2Q	7,185,600株	28年9月期2Q	7,185,600株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの事業セグメントは、証券ディーリングシステム、外国為替証拠金取引システム、取引所外取引システム等の開発及び保守を中心とする「金融ソリューション事業」、ITサポート及びグループ経営管理ソリューションシステムの開発及び販売を中心とする「ビジネスソリューション事業」、機能性食材であるハナヒラタケの健康食品や化粧品等の開発及び販売を行う「ヘルスケア事業」及び自己資金を運用する「自己資金運用事業」の4つです。

当第2四半期連結累計期間（以下、当第2四半期）の当社グループの連結経営成績は次の表のとおりです。

	平成28年9月期 (前第2四半期)		平成29年9月期 (当第2四半期)		対前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	
売上高	1,141	100.0	1,008	100.0	88.4
金融ソリューション事業	949	83.1	761	75.4	80.2
ビジネスソリューション事業	87	7.7	104	10.4	120.1
ヘルスケア事業	105	9.2	141	14.1	134.4
自己資金運用事業	—	—	1	0.1	—
営業損失(△)	△35	—	△180	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△38	—	△43	—	—

(注) 各事業の売上高は、セグメント間の内部取引を含んでいません。

当社グループの連結売上高の7割以上は金融ソリューション事業の売上高であり、その中でも証券会社等のディーリング（自己資金運用）業務を行う法人への売上高は、連結売上高の約3分の2を占めます。

当第2四半期においては、株式市場は一時期活況を呈し日経平均株価が1万9千円まで上昇し、また米国新政権の施策に肯定的な反応があったものの、地政学的リスク等により不安定な状況は続いています。

このような状況において当第2四半期の業績は、売上面ではビジネスソリューション事業及びヘルスケア事業で増収となったものの、金融ソリューション事業の減収分を補うには至らず減収となりました。利益面では、コスト適正化を推進していますが、金融ソリューション事業の減収による影響やヘルスケア事業の研究開発費用など先行投資を行った結果、営業損失は180百万円となりました。また、投資有価証券の一部を売却し投資有価証券売却益を計上しましたが、親会社株主に帰属する四半期純損失は43百万円となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

なお、各事業の売上高には、セグメント間の内部取引を含んでいません。

(金融ソリューション事業)

金融ソリューション事業は、当社の事業です。

当第2四半期の経営成績は次のとおりです。

売上高	761百万円	(前年同期比 80.2%)
セグメント利益	160百万円	(前年同期比 62.2%)

<製品区分別>

	平成28年9月期 (前第2四半期)		平成29年9月期 (当第2四半期)		対前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
証券ディーリングシステム	658	69.4	513	67.5	78.1
取引所端末	127	13.4	138	18.3	109.2
外国為替証拠金システム	59	6.3	63	8.4	106.8
取引所関連システム	86	9.1	27	3.6	31.9
その他	17	1.8	17	2.2	97.8
合計	949	100.0	761	100.0	80.2

<売上区分別>

	平成28年9月期 (前第2四半期)		平成29年9月期 (当第2四半期)		対前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
パッケージ売上	27	2.9	1	0.2	4.8
システムインテグレーション売上	41	4.4	26	3.5	63.5
ライセンスビジネス売上	593	62.6	544	71.6	91.8
カスタマーサポート売上	286	30.1	188	24.7	65.8
合 計	949	100.0	761	100.0	80.2

当第2四半期においては、製品区分別で前年同期に比べて取引所端末及び外国為替証拠金取引システムの売上増加があったものの、比較的取引額が大きい顧客の解約が影響し売上高が減少する結果となりました。一方利益面は、コスト適正化を推進したものの、売上高減少分を補うには至らず、セグメント利益は、前年同期より減益となりました。

(ビジネスソリューション事業)

ビジネスソリューション事業は、当社及び株式会社ビーエス・ジェイの事業です。

当第2四半期の経営成績は次のとおりです。

売上高 104百万円 (前年同期比 120.1%)

セグメント損失 41百万円 (前年同期は37百万円のセグメント損失)

自社開発の経営統合管理プラットフォーム「GroupMAN@IT e²」の販売を推進し、SES売上が前年同期に比べて増加した結果、売上高は前年同期に比べ20%超増加し、104百万円となりました。一方利益面は、エンジニア工数が増加した影響によりセグメント損失が増加しました。

(ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業は、当社、株式会社らぼおぐ及び株式会社健康プラザパルの事業です。

当第2四半期の経営成績は次のとおりです。

売上高 141百万円 (前年同期比 134.4%)

セグメント損失 127百万円 (前年同期は95百万円のセグメント損失)

ハナビラタケ製品の販売を中心に行っており、当第2四半期においてはインバウンド向けの販売も強化するなどの施策の結果、売上高は前年同期に比べ30%超増加し、141百万円となりました。

一方利益面は、学校法人東京女子医科大学及び国立研究開発法人産業技術総合研究所との産学官共同研究に伴う研究開発費が前年同期より増加したこと、バングラデシュ人民共和国でのハナビラタケ製剤化に向けた先行投資を行ったことなどが影響しセグメント損失が増加しました。

(自己資金運用事業)

自己資金運用事業は、株式会社トレーデックスの事業です。

当第2四半期の経営成績は次のとおりです。

売上高 1百万円

セグメント損失 21百万円 (前年同期は1百万円のセグメント損失)

投資教育事業として、個人投資家向け投資セミナーの開催やTokyoMXで「TRADEX マーケット・アングル」の番組提供を行っています。当第2四半期は、21百万円のセグメント損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末の総資産額（負債及び純資産の合計額）は、前連結会計年度末に比べ150百万円減少し、2,049百万円となりました。自己資本比率は82.6%、当座比率（当座資産÷流動負債、短期的安全性の指標）は449.5%であり、安定性の高い財務体質となっています。

（資産）

総資産合計2,049百万円のうち、現金及び預金が1,277百万円（構成比62.3%）を占めています。

その他の主な資産は、受取手形及び売掛金192百万円（構成比9.4%）、棚卸資産（商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品）166百万円（構成比8.1%）、投資有価証券60百万円（構成比3.0%）となっています。

（負債）

負債合計357百万円のうち、短期借入金、1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金の合計が206百万円（負債及び純資産に対する構成比10.1%）を占めています。

（純資産）

純資産合計1,691百万円の内訳は、資本金1,478百万円、資本剰余金794百万円、利益剰余金△486百万円、自己株式△95百万円等となっています。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ53百万円減少し、1,277百万円となりました。

各活動におけるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは227百万円の支出（前年同期は17百万円の支出）となりました。

主な内訳は、税金等調整前四半期純損失41百万円、投資有価証券売却益139百万円、法人税等の支払額33百万円などです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、217百万円の収入（前年同期は0百万円の収入）となりました。

無形固定資産の取得による支出が1百万円あった一方、投資有価証券の売却による収入が219百万円ありました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、43百万円の支出（前年同期は55百万円の支出）となりました。

長期借入金の返済による支出42百万円が主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは金融市場の動向の影響を受ける事業環境にありますが、現時点では平成28年9月期決算短信記載の連結業績予想で想定したとおりの進捗をしており、連結業績予想の変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用方針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,230,551	1,277,433
受取手形及び売掛金	271,072	192,452
有価証券	100,783	—
商品及び製品	80,104	76,096
仕掛品	69,060	77,044
原材料及び貯蔵品	13,278	13,532
繰延税金資産	6,400	6,400
その他	84,323	178,298
貸倒引当金	△11,932	△11,963
流動資産合計	1,843,643	1,809,294
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	18,190	16,686
工具、器具及び備品(純額)	31,359	25,999
有形固定資産合計	49,549	42,685
無形固定資産		
のれん	4,591	2,295
ソフトウェア	13,967	11,736
その他	1,247	1,247
無形固定資産合計	19,807	15,279
投資その他の資産		
投資有価証券	160,945	60,577
その他	125,309	121,280
投資その他の資産合計	286,254	181,857
固定資産合計	355,611	239,823
資産合計	2,199,254	2,049,117

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	82,692	76,390
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	80,736	79,749
リース債務	1,862	1,562
未払法人税等	16,264	673
その他	89,686	68,662
流動負債合計	371,241	327,037
固定負債		
長期借入金	68,993	27,092
リース債務	1,048	371
退職給付に係る負債	2,062	2,784
固定負債合計	72,103	30,248
負債合計	443,345	357,286
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,478,433	1,478,433
資本剰余金	794,264	794,264
利益剰余金	△442,345	△486,097
自己株式	△95,031	△95,031
株主資本合計	1,735,321	1,691,569
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,300	—
その他の包括利益累計額合計	20,300	—
新株予約権	287	262
純資産合計	1,755,909	1,691,831
負債純資産合計	2,199,254	2,049,117

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
売上高	1,141,748	1,008,866
売上原価	737,669	753,150
売上総利益	404,078	255,716
販売費及び一般管理費合計	439,236	436,268
営業損失(△)	△35,157	△180,552
営業外収益		
受取利息	348	20
受取配当金	1,213	526
その他	288	845
営業外収益合計	1,849	1,392
営業外費用		
支払利息	2,703	1,543
その他	50	5
営業外費用合計	2,753	1,549
経常損失(△)	△36,061	△180,709
特別利益		
新株予約権戻入益	—	25
投資有価証券売却益	82	139,547
特別利益合計	82	139,572
特別損失		
固定資産除売却損	16	—
特別損失合計	16	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△35,996	△41,136
法人税、住民税及び事業税	2,457	2,615
法人税等合計	2,457	2,615
四半期純損失(△)	△38,454	△43,751
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△38,454	△43,751

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
四半期純損失(△)	△38,454	△43,751
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,550	△20,300
その他の包括利益合計	△6,550	△20,300
四半期包括利益	△45,004	△64,051
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△45,004	△64,051
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△35,996	△41,136
減価償却費	10,976	7,719
ソフトウェア償却費	3,476	3,231
のれん償却額	2,295	2,295
その他の償却額	4,920	4,085
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△240	30
受注損失引当金の増減額(△は減少)	500	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	61	722
受取利息及び受取配当金	△1,561	△546
支払利息	2,703	1,543
投資有価証券売却損益(△は益)	△82	△139,547
固定資産除売却損益(△は益)	16	—
新株予約権戻入益	—	△25
売上債権の増減額(△は増加)	32,325	78,620
たな卸資産の増減額(△は増加)	△9,243	△4,230
その他の流動資産の増減額(△は増加)	11,506	△75,192
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,515	△6,302
未払金の増減額(△は減少)	△8,513	△7,403
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	△434	△3,175
未払消費税等の増減額(△は減少)	△25,728	△16,681
その他の流動負債の増減額(△は減少)	6,350	3,064
その他	△135	—
小計	△10,317	△192,927
利息及び配当金の受取額	1,561	546
利息の支払額	△2,674	△1,515
法人税等の支払額	△9,576	△33,841
法人税等の還付額	3,278	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△17,728	△227,737
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,632	△855
無形固定資産の取得による支出	△514	△1,000
投資有価証券の売却による収入	5,300	219,615
差入保証金の差入による支出	—	△56
投資活動によるキャッシュ・フロー	152	217,703

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△9,000	—
長期借入金の返済による支出	△39,688	△42,888
リース債務の返済による支出	△930	△976
割賦債務の返済による支出	△5,905	—
新株予約権の発行による収入	287	—
配当金の支払額	△248	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△55,484	△43,868
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△73,060	△53,902
現金及び現金同等物の期首残高	1,436,685	1,331,335
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,363,625	1,277,433

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	金融ソリューション事業	ビジネスソリューション事業	ヘルスケア事業	自己資金運用事業			
売上高							
外部顧客への売上高	949,082	87,297	105,367	—	1,141,748	—	1,141,748
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	1,500	30	—	1,530	△1,530	—
計	949,082	88,797	105,398	—	1,143,278	△1,530	1,141,748
セグメント利益又は損失 (△)	257,706	△37,910	△95,719	△1,208	122,867	△158,025	△35,157

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△158,025千円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	金融ソリューション事業	ビジネスソリューション事業	ヘルスケア事業	自己資金運用事業			
売上高							
外部顧客への売上高	761,013	104,867	141,631	1,354	1,008,866	—	1,008,866
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	1,500	91	—	1,591	△1,591	—
計	761,013	106,367	141,722	1,354	1,010,457	△1,591	1,008,866
セグメント利益又は損失 (△)	160,243	△41,747	△127,685	△21,441	△30,630	△149,921	△180,552

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△149,921千円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。